

2020年8月26日

博報堂、“ニューノーマル時代のスマートシティ”をテーマに
グローバル・オープンイノベーション・プログラム『SmartCityX』に参画
大企業やスタートアップとの“チーム企業型”で事業開発を推進

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）の新規事業開発組織「ミライの事業室」は、スクラムベンチャーズ（本社：米国サンフランシスコ市、ジェネラルパートナー：宮田拓弥）が主催するグローバル・オープンイノベーション・プログラム『SmartCityX』に参画いたします。

『SmartCityX』は、“ニューノーマル時代のスマートシティ”をテーマに、日本企業と世界中のスタートアップが連携して事業共創を行うプログラムで、当社はパートナー企業として『SmartCityX』のプログラム設計のプロデュースを担うとともに、参画するパートナー各社・スタートアップとの協業による事業開発を推進していきます。

博報堂ミライの事業室は、“生活者が主役のスマートシティ”の実現を目指して、『Smart Citizen Vision』プロジェクト (<https://smartcitizen.jp/>) を推進し、多様なパートナーとともに共同研究や事業開発、実証実験プロジェクトなどの活動を行っています。新型コロナウイルスの影響で社会の価値観が大きく変わりつつある今、これからのまちづくりには、どんな未来を暮らしたいかという生活者中心のビジョンが今までより一層、強く求められていくと考えます。

今回、コロナによる社会変容を前向きな未来への変革の機会と捉え、生活者目線で新たな価値を生み出すイノベーションプラットフォームとして発足する『SmartCityX』のビジョンに賛同し、世界中のパートナーとともに“生活者主役のスマートシティ”を実現していくために、本プログラムに参画することといたしました。

『SmartCityX』では、スマートシティを「Society 5.0」の実践の場として、複数分野のパートナー企業と世界中の最先端のスタートアップが連携して「未来のまち」を共創していきます。

特定のエリアにおける街づくりではなく、多様な地域課題に応じて適用可能な、生活者目線で価値の高い先進サービス及びアプリケーションの共創に軸足を置き、また、それらがデータ基盤によって相互連携されることで、生活者にとって利便性の高いスマートシティモデルの開発に取り組みます。

地域課題に取り組む先進自治体や、専門的な知見やネットワークを有するメンターの参画も得て、地域の課題を具体的に理解し、実証実験や PoC にとどまらない将来の事業化と具体的なサービス・アプリケーションの社会実装を目指していきます。

博報堂ミライの事業室は、“チーム企業型事業創造”の方針のもと、スクラムベンチャーズや各パートナー企業、スタートアップ、自治体等と連携し、未来のよりよい暮らしの創造に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 平原・山野 koho.mail@hakuhodo.co.jp TEL:03-6441-6161

<参考資料>

【SmartCityX について】



(SmartCityX 「未来のまち」イメージ図)

- ・主催：スクラムベンチャーズ
- ・公式ウェブサイト：<https://www.smartcity-x.com/>
- ・開催期間：2020年8月から2021年5月迄を予定
- ・スケジュール（予定）：
 - スタートアップ募集期間：2020/8/26～2020/11/30
 - スタートアップ選考期間：2020/12月～2021/1月
 - メンタリング・事業開発期間：2021/2月～2021/5月
 - デモデイ（成果発表イベント）：2021/5月または6月

・本プログラムで募集するスタートアップの主要6領域

- ①コンシューマープロダクト&サービス
- ②モビリティ
- ③スマートビルディング
- ④エネルギー&資源&サステナビリティ
- ⑤インフラストラクチャ
- ⑥ソーシャルイノベーション

● 応募ページ：<https://www.f6s.com/smartcityx/apply>

【スクラムベンチャーズについて】

スクラムベンチャーズは、数多くのイノベーションが起これ続けるシリコンバレーと東京を拠点とし、新しい技術やサービスで世界を変えるアーリーステージのスタートアップに投資を実行しています。大企業のオープンイノベーションを支援するスタジオ事業では、各業界を代表する大企業パートナーと共に、アクセラレータープログラム、共同事業創造などを行っています。また大企業とスタートアップをつなぐオンラインプラットフォーム「Scrum Connect Online」も提供しています。スクラムベンチャーズは、日本企業と世界中のスタートアップとの新たな事業、価値創造をドライブします。

【博報堂ミライの事業室】

2019年に発足した新規事業開発組織。「チーム企業型事業創造」を方針に、博報堂が自ら事業オーナーとなり、多様なパートナーと連携して大きな事業の実現を目指します。博報堂が強みとする生活者発想とクリエイティビティを活かした事業創造を通じて、事業の先にあるミライの生活創造、社会創造に挑戦していきます。<http://mirai-biz.jp/>

【Smart Citizen Vision（スマートシチズンビジョン）】

ミライの事業室が推進する、生活者が主役のスマートシティを実現するための活動。
<https://smartcitizen.jp/>